



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月3日
東

上場会社名 三京化成株式会社 上場取引所
 コード番号 8138 URL <https://www.sankyokasei-corp.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川和夫
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理部長 (氏名) 大槻一博 (TEL) 06-6271-1881
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	16,117	△12.0	38	△51.1	129	△21.1	63	△13.0
2020年3月期第3四半期	18,325	4.1	79	△51.9	164	△35.1	73	△76.7

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 69百万円(△59.2%) 2020年3月期第3四半期 171百万円(314.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	47.90	—
2020年3月期第3四半期	55.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	16,423	9,495	57.7
2020年3月期	15,867	9,539	60.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 9,477百万円 2020年3月期 9,514百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	42.50	—	42.50	85.00
2021年3月期	—	42.50	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	42.50	85.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,300	△8.4	10	△83.1	110	△34.1	0	—	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

詳細は、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	1,560,000株	2020年3月期	1,560,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	225,218株	2020年3月期	225,108株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	1,334,830株	2020年3月期3Q	1,326,431株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルスのパンデミックが全世界の社会経済活動に大幅な縮小をもたらし、わが国においても、感染拡大を受けて4月には緊急事態宣言が出され、人の移動と接触機会を減らすため日常生活及び経済活動全般に亘って規制や自粛が広がりました。

その後も感染の拡大と鎮静化傾向を繰り返すなか、景気下支えのため政府及び地方からの金融支援と大型財政出動が実施されたこと等により、一部に好調もしくは持ち直しが見られる業種もあるものの、全体では輸出、内需ともに大幅減で推移しました。

このような状況の下、当社グループは、役職員のコロナウイルス感染防止対策を実施する一方、商材の安定供給及び機会損失の防止により減収幅の抑制を図るとともに、経費節減により収益の確保に努めました。

これらの結果、売上高は161億1千7百万円（前年同期比12.0%減）と減収、営業利益は3千8百万円（前年同期比51.1%減）、経常利益は1億2千9百万円（前年同期比21.1%減）と、大幅な減益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は6千3百万円（前年同期比13.0%減）で、投資有価証券売却益等により、特別損失差引後の特別損益が1千5百万円あったことにより、前年同期比の減益率は経常利益よりも小幅にとどまりました。

事業セグメント別の概況は次のとおりであります。今般のコロナ禍の影響による減収は、当社事業グループ全般に及びました。中でも大きな影響を受けた主な事業分野は、全国的に道路等の各種インフラ工事の進捗が遅れた土木関連、自動車が減産となった輸送機器関連、インバウンドを含め大幅需要減となった化粧品用途の薬剤等の化学工業関連分野、及び住宅着工件数が減少した建装材事業セグメントであります。

[科学事業]

＜土木・建材資材関連分野＞

土木関連分野では、舗装道路用及び大型コンクリート構造物用添加剤の増量があったものの、全国的な道路工事等の物件減少により地盤改良用セメント添加剤他が減少し、減収となりました。

建材資材関連分野では、発泡断熱システム用薬剤の伸長があったものの、住宅着工件数減少に伴い建材ボード用工程薬剤、内装用化粧材や壁紙用フィルム及び塗料関連薬剤が減少したため、大幅な減収となりました。

＜情報・輸送機器関連分野＞

情報関連分野では、ディスプレイ用機能性フィルム関連薬剤やリチウムイオン電池用途関連材料は堅調に推移しましたが、自動車の減産及び顧客の一部海外工場のロックダウンにより、材料及び部品納入が大きく減少したほか、一部半導体封止用樹脂も減少し大幅な減収となりました。

輸送機器関連分野では、免振装置用シートは伸長したものの、自動車の減産に伴い関連成形樹脂、車体用防振樹脂及び車載用電装部材が大きく減少し、大幅な減収となりました。

＜日用品関連分野＞

日用品関連分野では、清掃用品材料の増量はありましたが、化粧品関連薬剤、眼鏡レンズ機能性コート剤が減少し、若干の減収となりました。

フィルム関連分野では、コロナ禍による巣ごもり需要の増加により生鮮野菜、チルド食品及び冷凍食品包装フィルムが伸長し、増収となりました。

＜化学工業関連分野＞

繊維関連分野では、繊維の国内加工縮小が続くなか衣料用の染料及び染色助剤の減少により減収となりました。

化学工業関連分野では、耐火物用機能性無機フィラーや電子部品関連部材の精密洗浄剤等の伸長はありましたが、化粧品関連材料が大幅に減少したほか、輸入基礎化学品の価格競争激化に伴う減少等もあり同分野全体では大幅な減収となりました。

これらの結果、科学事業セグメントの売上高は133億円（前年同期比12.0%減）、営業利益は2億2千3百万円（前年同期比6.6%減）と、減収減益となりました。

[建装材事業]

新規住宅着工件数が減少したことに加えて、住宅展示場等の各種イベント開催の自粛や集客人数の抑制もあったため、造作部材、樹脂製品、建具のほかキッチン関連商品も大幅な販売減となりました。

これらの結果、建装材事業セグメントの売上高は28億1千6百万円（前年同期比12.1%減）と減収となり、営業損失は4千1百万円（前年同期は営業損失9百万円）となり、赤字幅が拡大しました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産の部

流動資産は前連結会計年度末に比べ、5億7千2百万円増加し、100億7千4百万円となりました。これは主に、現金及び預金が9億1千9百万円増加し、受取手形及び売掛金が1億2百万円、商品及び製品が1億1百万円、有価証券が5千4百万円減少したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ、1千7百万円減少し、63億4千8百万円となりました。これは主に、投資その他の資産が9千6百万円増加し、有形固定資産が5千8百万円、無形固定資産が5千4百万円減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ、5億5千5百万円増加し、164億2千3百万円となりました。

②負債の部

流動負債は前連結会計年度末に比べ、6億7千5百万円増加し、59億1千2百万円となりました。これは主に、買掛金が5億2千8百万円、電子記録債務が2億1千4百万円増加し、その他に含まれる未払金が8千7百万円減少したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ、7千6百万円減少し、10億1千5百万円となりました。これは主に、その他に含まれるリース債務が4千1百万円、役員退職慰労引当金が2千6百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ、5億9千9百万円減少し、69億2千8百万円となりました。

③純資産の部

純資産合計は前連結会計年度末に比べ、4千4百万円減少し、94億9千5百万円となりました。これは主に、利益剰余金が4千9百万円、為替換算調整勘定が3千3百万円減少し、その他有価証券評価差額金が4千5百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年8月5日に発表した通期の連結業績予想の数値を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,180,845	2,100,275
受取手形及び売掛金	6,044,282	5,941,987
電子記録債権	1,278,431	1,255,179
有価証券	54,154	-
商品及び製品	737,646	636,016
仕掛品	20,416	20,261
原材料及び貯蔵品	42,336	36,925
その他	143,869	84,246
貸倒引当金	-	△213
流動資産合計	9,501,981	10,074,678
固定資産		
有形固定資産	2,060,454	2,001,487
無形固定資産	175,993	121,833
投資その他の資産		
投資有価証券	3,972,553	4,078,179
退職給付に係る資産	21,882	9,908
その他	135,838	138,364
貸倒引当金	△1,026	△1,151
投資その他の資産合計	4,129,248	4,225,300
固定資産合計	6,365,696	6,348,621
資産合計	15,867,677	16,423,300
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,372,081	3,900,921
電子記録債務	1,419,945	1,634,180
1年内返済予定の長期借入金	30,064	28,166
未払法人税等	16,862	40,234
賞与引当金	57,220	14,023
役員賞与引当金	20,200	16,350
その他	320,766	279,048
流動負債合計	5,237,140	5,912,923
固定負債		
長期借入金	85,443	64,395
役員退職慰労引当金	300,738	274,248
退職給付に係る負債	3,020	3,731
その他	702,085	672,773
固定負債合計	1,091,286	1,015,147
負債合計	6,328,427	6,928,070

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,716,600	1,716,600
資本剰余金	1,456,843	1,456,843
利益剰余金	5,394,797	5,345,273
自己株式	△457,568	△457,865
株主資本合計	8,110,671	8,060,850
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,346,980	1,392,791
土地再評価差額金	32,572	32,572
為替換算調整勘定	24,313	△9,071
その他の包括利益累計額合計	1,403,866	1,416,292
非支配株主持分	24,711	18,086
純資産合計	9,539,250	9,495,229
負債純資産合計	15,867,677	16,423,300

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	18,325,562	16,117,358
売上原価	16,621,845	14,597,608
売上総利益	1,703,716	1,519,750
販売費及び一般管理費	1,624,320	1,480,936
営業利益	79,396	38,813
営業外収益		
受取利息	6,373	5,662
受取配当金	65,868	68,467
持分法による投資利益	4,865	4,275
仕入割引	3,245	1,731
その他	14,411	24,029
営業外収益合計	94,765	104,165
営業外費用		
支払利息	585	401
為替差損	1,130	2,366
売上割引	3,482	1,611
その他	4,448	8,859
営業外費用合計	9,646	13,238
経常利益	164,514	129,740
特別利益		
固定資産売却益	57	-
投資有価証券売却益	-	29,754
投資有価証券償還益	-	11,819
特別利益合計	57	41,573
特別損失		
固定資産除却損	3,306	221
固定資産売却損	-	26,287
投資有価証券評価損	413	-
特別損失合計	3,719	26,509
税金等調整前四半期純利益	160,853	144,805
法人税、住民税及び事業税	91,686	85,628
法人税等合計	91,686	85,628
四半期純利益	69,166	59,176
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,359	△4,762
親会社株主に帰属する四半期純利益	73,526	63,939

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	69,166	59,176
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	101,584	45,811
為替換算調整勘定	1,070	△32,094
持分法適用会社に対する持分相当額	△714	△3,154
その他の包括利益合計	101,940	10,563
四半期包括利益	171,107	69,740
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	174,479	76,365
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,371	△6,625

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	科学事業	建装材事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,122,349	3,203,212	18,325,562	—	18,325,562
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	15,122,349	3,203,212	18,325,562	—	18,325,562
セグメント利益又は損失(△)	239,124	△9,263	229,861	△150,465	79,396

(注) 1. 「調整額」の区分は、報告セグメントに帰属しない本社固有の費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	科学事業	建装材事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,300,653	2,816,705	16,117,358	—	16,117,358
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	13,300,653	2,816,705	16,117,358	—	16,117,358
セグメント利益又は損失(△)	223,265	△41,100	182,164	△143,350	38,813

(注) 1. 「調整額」の区分は、報告セグメントに帰属しない本社固有の費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。